

仕訳データ取込解説書（データ形式：標準版）

仕訳データを取込するためには以下の順序で行います。
各項目の詳細につきましては、記載ページを参照してください。

取込データを準備する。

2Pへ

標準形式で仕訳データを取込むためには、本システムの形式に合わせたデータを準備して頂く必要があります。

取込み方法は2つあります。以下のどちらかを参照してください。

すぐにデータを取込みたい

7Pへ

先にデータを取込みしてから、詳細のマスタ設定を行いたい場合に有効な方法です。また、下記の方法より作業時間を短縮できます。

マスタ設定を行ってから取込みしたい

14Pへ

マスタ設定を行ってから、仕訳データを取込する方法です。補助科目マスタや部門マスタ等を先に登録してから仕訳データを取込みます。

取込データを準備する。

標準形式で仕訳データを取込むためのデータ作成方法を解説します。

どのようなデータを準備すればよいですか？

標準形式のレイアウトに合わせたCSV（カンマ区切り）データをご用意ください。エクセルで作成可能です。

Point

標準形式のレイアウトはどのようなものですか？

標準形式のレイアウトは次項に記載しております。データ作成の際、参考にしてください。

取り込むことができる仕訳明細数に制限はありますか？

ほぼ制限はありません。

※複合仕訳で一伝票の明細数が999行を超える場合は取込みエラーとなります。

複数会計年度のデータを一度に取込みすることはできますか？

2年度分のデータを一度に取込むことができます。

作成データレイアウト

列	貸借	項目名称	最大桁数 (半角)	必須 項目	備考
A		データ区分	2		空白または0:通常伝票、10:決算伝票
B		データID	10		未使用
C		伝票日付	10	○	yyyy/mm/dd(和暦の場合はH20/4/6又はH20.4.6)
D		伝票NO	8		空白または数字
E		入力日時	19		空白
F	借方	勘定科目コード	8	○	
G	借方	補助科目コード	9		ないときは空白。補助科目管理を行っている科目の場合は、必須。 公益法人の場合、科目/補助科目の情報を元に内部取引を判断し、内部取引仕訳として取り込みます。
H	借方	部門コード	8		ないときは空白。部門管理を行っている科目の場合は、必須。
I	借方	取引先コード	12		ないときは空白。取引先管理を行っている科目の場合は、必須。
J	借方	取引先名	30		
K	借方	税種別	2		次項を参照してください。
L	借方	事業区分	1		次項を参照してください。
M	借方	消費税率(%)	3		次項を参照してください。
N	借方	内・外・別記	1		次項を参照してください。
O	借方	金額(入力)	12	○	
P	借方	消費税額	12		内税または外税のときに使用。文字を含む場合は0に変換。
Q	借方	摘要	70		
R	貸方	勘定科目コード	8	○	
S	貸方	補助科目コード	9		ないときは空白。補助科目管理を行っている科目の場合は、必須。 公益法人の場合、科目/補助科目の情報を元に内部取引を判断し、内部取引仕訳として取り込みます。
T	貸方	部門コード	8		ないときは空白。部門管理を行っている科目の場合は、必須。
U	貸方	取引先コード	12		ないときは空白。取引先管理を行っている科目の場合は、必須。
V	貸方	取引先名	30		
W	貸方	税種別	2		次項を参照してください。
X	貸方	事業区分	1		次項を参照してください。
Y	貸方	消費税率(%)	3		次項を参照してください。
Z	貸方	内・外・別記	1		次項を参照してください。
AA	貸方	金額(入力)	12	○	
AB	貸方	消費税額	12		内税または外税のときに使用。文字を含む場合は0に変換。
AC	貸方	摘要	70		
AD		内部取引区分	1		ないときは空白または0 1:事業区分間 2:拠点区分間 3:サービス区分間 4:貸借 5:借方 6:貸方 ※1~3は社会福祉法人会計にて使用します ※4~6は公益法人会計にて使用します
AE	借方	国内輸出入区分	1		次項を参照してください。
AF	貸方	国内輸出入区分	1		次項を参照してください。
AG		収支フガ	1		空白または0:フガあり、1:フガなし
AH		証憑/伝番	6		空白または数字

伝票No.について

伝票No.は複合仕訳を判定するキーとしての役割をもっています。

作成データに設定した伝票No.は発展会計上の伝票No.に反映されませんのでご注意ください。

税区分の設定について

データ取込時に設定する税区分は、作成データのK列「税種別」、L列「事業区分」、M列「消費税率」、N列「内・外・別記」の組み合わせにより決定します。

・税種別一覧表（K列に記載）

税区分名称	税種別	事業区分	税率	内／外／別記	貸借区分
科目マスタの設定に従う	1	—	—	—	貸
課税売上	1 0	○	○	○	貸
課税売上返還	1 1	○	○	○	借
課税売上貸倒	1 2	—	○	○（内のみ）	借
課税売上貸倒回収	1 3	—	○	○（内のみ）	貸
非課税売上	1 4	—	—	—	（貸）
輸出売上	2 0	—	—	—	（貸）
非課税輸出売上	2 4	—	—	—	（貸）
有価証券の譲渡	3 4	—	—	—	（貸）
課税売上対応課税仕入	5 0	—	○	○	借
共通対応課税仕入	6 0	—	○	○	借
非課税売上対応課税仕入	7 0	—	○	○	借
課税売上対応税仕入返還	5 1	—	○	○	貸
共通対応課税仕入返還	6 1	—	○	○	貸
非課税売上対応課税仕入返還	7 1	—	○	○	貸
課税売上対応課税貨物	5 2	—	○	○	借
共通対応課税貨物	6 2	—	○	○	借
非課税売上対応課税貨物	7 2	—	○	○	借
特定課税仕入	5 3	—	○	○	借
共通特定課税仕入	6 3	—	○	○	借
非課税特定課税仕入	7 3	—	○	○	借
特定課税仕入返還	5 5	—	○	○	貸
共通特定課税仕入返還	6 5	—	○	○	貸
非課税特定課税仕入返還	7 5	—	○	○	貸
非課税仕入	5 4	—	○	○	借
売上対象外	9 6	—	—	—	—
仕入対象外	9 7	—	—	—	—
対象外（不課税）	9 8	—	—	—	—
不明	9 9	—	—	—	—

税区分の設定について

- ・ 事業区分一覧表（L列に記載）
簡易課税業者のみ、それ以外は空欄で可

0または""	なし
1	業種 1
2	業種 2
3	業種 3
4	業種 4
5	業種 5

- ・ 税率一覧表（M列に記載）

0または""	なし
3	3%
5	5%
8	8%
8*	軽減 8%
8*# または 8#*	軽減 8%免税
10	10%
10#	10%免税

- ・ 内税／外税／別記（N列に記載）

内税：税込の金額を入力して、税額を未入力にすると、消費税金額を自動計算する。

税額を入力した場合は、入力した金額をそのまま税額として取り込む。

外税：税抜の金額を入力し、消費税金額も修正することが出来る。

別記：仕訳の別行として、仮払・仮受消費税で仕訳を起こし消費税額分を記入する。

0または""	なし
1	内税
2	外税
3	別記

例①

エクセルの列名	K	L	M	N
項目名	税種別	事業区分	税率	内/外/別
コード	10		8*	1

上記のように記入した場合、「軽減課税売上内税8%（軽売内8）」の税区分が適用されます。

例②

エクセルの列名	K	L	M	N
項目名	税種別	事業区分	税率	内/外/別
コード	11	3	10	2

上記のように記入した場合、「事業区分3用課税売上返還外税10%（3売別外10）」の税区分が適用されます。

税区分の設定について

- ・国内輸出入区分（A E列に記載）
税種別が52,62,72の場合に使用する。それ以外は空欄で可

0または""	国内
1	輸出入
5	輸入本体
6	輸入国税
7	輸入地方税

例①

エクセルの列名	K	L	M	N	AE
項目名	税種別	事業区分	税率	内/外/別	国内輸出入区分
コード	52		8	3	5

上記のように記入した場合、「仕入輸入課税本体8%（仕輸課本8）」の税区分が適用されます。

例②

エクセルの列名	K	L	M	N	AE
項目名	税種別	事業区分	税率	内/外/別	国内輸出入区分
コード	72		5	3	1

上記のように記入した場合、「非課税売上対応課税貨物別記5%（仕貨非別5）」の税区分が適用されます。

注意事項

以下の項目において、データの取り込みを行う際に設定をよく確認してください。

- ・補助科目コード
補助科目マスタにおけるコードになります。本システムでは補助科目コード（補助科目マスタ登録の検索コード）は9桁です。
他社の会計ソフトで10桁以上のコードを使用している場合は、コードの変換を行ってください。
（借方・貸方）
- ・部門コード
本システムでは部門コード（部門マスタ登録の検索コード）は8桁です。
他社の会計ソフトで9桁以上のコードを使用している際は、コードの変換を行ってください。
（借方・貸方）
- ・取引先コード
本システムでは取引先コード（取引先マスタ登録の検索コード）は12桁です。
他社の会計ソフトで13桁以上のコードを使用している際はコードの変換を行ってください。
（借方・貸方）
- ・摘要
本システムの摘要は最大70バイト（全角35文字）までです。他社の会計ソフトで70バイト超の摘要を記入している場合は、71バイト以降の文字列を削除して摘要を取込みます。
必要であれば、摘要の内容を変更してください。
- ・複合仕訳の取り込みをする場合
複合仕訳を取り込む際は、同じ伝票番号を記載してください。
例) 普通預金 100,000 / 売掛金 100,525
 支払手数料 525
 という複合仕訳があった場合、1行目に普通預金 100,000/売掛金 100,525を記載し、
 2行目に支払手数料 525/ 空白 を記載します。

	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1	日付	伝票番号	借方科目	税種	税率	借方金額	貸方科目	税種	税率	貸方金額
2	2013/4/5	1	普通預金			100,000	売掛金			100,525
3	2013/4/5	1	支払手数料	50	5	525				
4	2013/4/1	2	現金			600,000	売上高	10	5	600,000
5	2013/4/1	3	交際費			5,000	現金			5,000

※画像はイメージです。

先にデータ取込み、その後マスタを設定する方法

先にデータを取込み、その後各種マスタを調整する場合以下の手順で作業を行います。

- 1 年度別会計マスタ登録の設定 8P**
部門管理の有無、消費税の端数処理などの設定を行います。
- 2 科目マスタ登録の設定 9P**
既存の会計ソフトで使用している科目コードと本システムで利用する科目コードが一致するように登録します。例えば、既存の会計ソフトで「現金」の科目コードが100であった場合、本システムの「現金」の科目コードも100と設定します。
- 3 仕訳データ取込み 10P**
準備した取込みデータを仕訳データ取込で本システムに取込みます。
- 4 科目マスタの調整 ※新規で科目取り込んだ場合のみ 11P**
仕訳データ取込時に新規作成された科目の調整を行います。
- 5 部門マスタの調整 ※部門管理をしている場合のみ 13P**
仕訳データ取込時に新規作成された部門の調整を行います。
- 6 補助科目マスタの調整 ※補助科目管理をしている場合のみ 14P**
仕訳データ取込時に新規作成された補助科目の調整を行います。
- 7 取引先マスタの調整 ※取引先管理をしている場合のみ 15P**
仕訳データ取込時に新規作成された取引先の調整を行います。

年度別会計マスタの設定

メニュー位置：F7 初期導入 期首残高

初期設定マスタ

年度別会計マスタ登録 サンプル

ファイル (E) 編集 (E) 移動 (I) ヘルプ (H)

年度別会計マスタ登録 2011年1月～12月

会計年度 2012年1月～12月 表示

会計期間 2012/01/01 ~ 2012/12/31

設立日

年度名称 2012年1月～12月

月度名

- 開始日の月名
- 終了日の月名

伝票番号形式

- 年度単位
- 月単位

1 部門管理有り

製造原価管理する

平均従業員数 10.00 人

平均売場面積 100.00 m²

2 消費税経理処理方式

- 税込
- 税抜

決算書形式 2006年度形式

法人税電子申告 使用しない

3 消費税課税区分

- 免税
- 簡易課税
- 本則課税 個別
- 本則課税 比例

課税売上割合
 事前に申請 %

4 消費税計算の丸め

- 切り上げ
- 切り捨て
- 四捨五入

F1 ヘルプ F5 見出しへ F7 取消 F8 登録 F12 終了

No.	項目	説明
①	部門管理 製造原価管理	部門管理や製造原価管理の場合はチェックを入れてください。
②	消費税経理処理方式	税込か税抜のどちらかを選択してください。
③	消費税課税区分	対象の会計年度の課税区分を選択してください。
④	消費税計算の丸め	対象の消費税端数の処理方法を選択してください。

それぞれの設定が終わったら、**最後にF8登録を行ってください。**

科目マスタ登録の設定

メニュー位置：F7 初期導入 期首残高 マスタ

科目マスター登録 テスト企業

ファイル (F) 編集 (E) ヘルプ (H)

科目マスター登録 2013年1月~12月

表示 集計項目

略称	正式名称			キャッシュ-借方	キャッシュ-貸方	消費税			使用期間
	検索コード	加検索	ローマ字	損益属性	資金繰り属性	補	部	取	入力帳簿
現金	現金		GENKIN	IV現金および現金	IV現金および現金				現金出納帳入力
当座預金	1001	当座預金	TOUZAYO	IV現金および現金	IV現金および現金				預金出納帳入力
普通預金	1004	普通預金	FUTUUYO	IV現金および現金	IV現金および現金				預金出納帳入力
通知預金	1005	通知預金	TUUTIYO	IV現金および現金	IV現金および現金				預金出納帳入力
定期預金	1006	定期預金	TEIKIYO	IV現金および現金	IV現金および現金				預金出納帳入力
定期積立	1007	定期積立	TEIKITU	IV現金および現金	IV現金および現金				預金出納帳入力
別段預金	1008	別段預金	BETUDAN	IV現金および現金	IV現金および現金				預金出納帳入力
他当座資産	1009	他当座資産	HOKATOUZ	IV現金および現金	IV現金および現金				

F1 ヘルプ F4 参照 F7 取消 F8 登録 F12 終了

No.	項目	説明
①	検索コード	既存の会計ソフトで使用しているコードと一致しない場合は、使用しているコードを入力してください。
②	補 部 取	補：補助科目管理 部：部門管理 取：取引先管理 それぞれ管理を行っている場合はチェックをいれてください。

それぞれの設定が終わったら、**最後にF8登録を行ってください。**

使用している科目がない場合は？

科目マスタ登録で新規に科目を追加してください。追加方法は科目マスタ登録のヘルプを参照してください。

仕訳データ取込み

メニュー位置：F7 初期導入 期首残高

データ連携

仕訳データ取込 テスト企業

ファイル (F) 編集 (E) ヘルプ (H)

仕訳データ取込

2013年1月～12月

① データ形式

標準形式

期間指定

伝票日付範囲

以前取込んだ期間内のデータを全て削除する

入力可能期間外の伝票も日付を訂正して取込む

②

存在しないマスタデータを、新規で取り込む。
(科目・補助科目・部門・取引先)

③

税区分が不明の場合は、金額と消費税額を加算する。

取込ファイル指定

④

C:\Users\konno.takayuki\Desktop\データ4.csv

参照

⑤

取込ファイルの先頭行を無視する

取込後、取込ファイルを削除する

⑥

文字コード 標準文字コード (MS932)



No.	項目	説明
①	データ形式	標準形式を選択してください。
②	存在しないマスタデータを新規で取込む	必ずチェックを入れてください。
③	税区分が不明の場合は、金額と消費税額を加算す。	取込もうとしている仕訳明細データで税区分が判定できない場合、税区分は不明で取込みされます。その際に、仕訳明細データにある取引金額と消費税金額を合算して取込みたい場合はチェックを入れてください。詳細は21Pを参照してください。
④	取込ファイル指定	取込するファイルを参照し指定してください。
⑤	取込ファイルの先頭行を無視する。	取込みするデータの先頭行に仕訳以外のデータ、例えば、各列の項目名称等が設定されている場合、チェックを入れてください。
⑥	文字コード	標準文字コード (MS9 2 3) を選択してください。

科目マスタの調整

メニュー位置：F7 初期導入 期首残高

初期設定マスタ

科目マスタ登録 研修用企業

ファイル (F) 編集 (E) ヘルプ (H)

科目マスタ登録 2013年1月~12

全科目

- 流動資産
 - 現金/預金
 - 現金
 - 小口現金
 - 当座預金
 - 通知預金
 - 定期預金
 - 定期預金②
 - 定期積立
 - 別段預金
 - 普通預金
 - 他当座資産
 - 1010
 - 1020
 - 売上債権
 - 有価証券
 - 棚卸資産
 - 他流動資産
- 固定資産
- 繰延資産
- 繰上負債

表示

正式名称 1010

略称 1010 変動比率 %

検索コード 1010 損益属性

カナ検索 資金繰り属性

ローマ字検索 入力帳簿

消費税区分 キャッシュフロー分類項目

借方

貸方

補助科目有り

部門管理する

取引先管理する

使用期間

貸借区分 借方 貸方

F1 ヘルプ F2 複写 F4 参照 F7 取消 F8 登録 F12 終了

取込時に新規作成される科目について

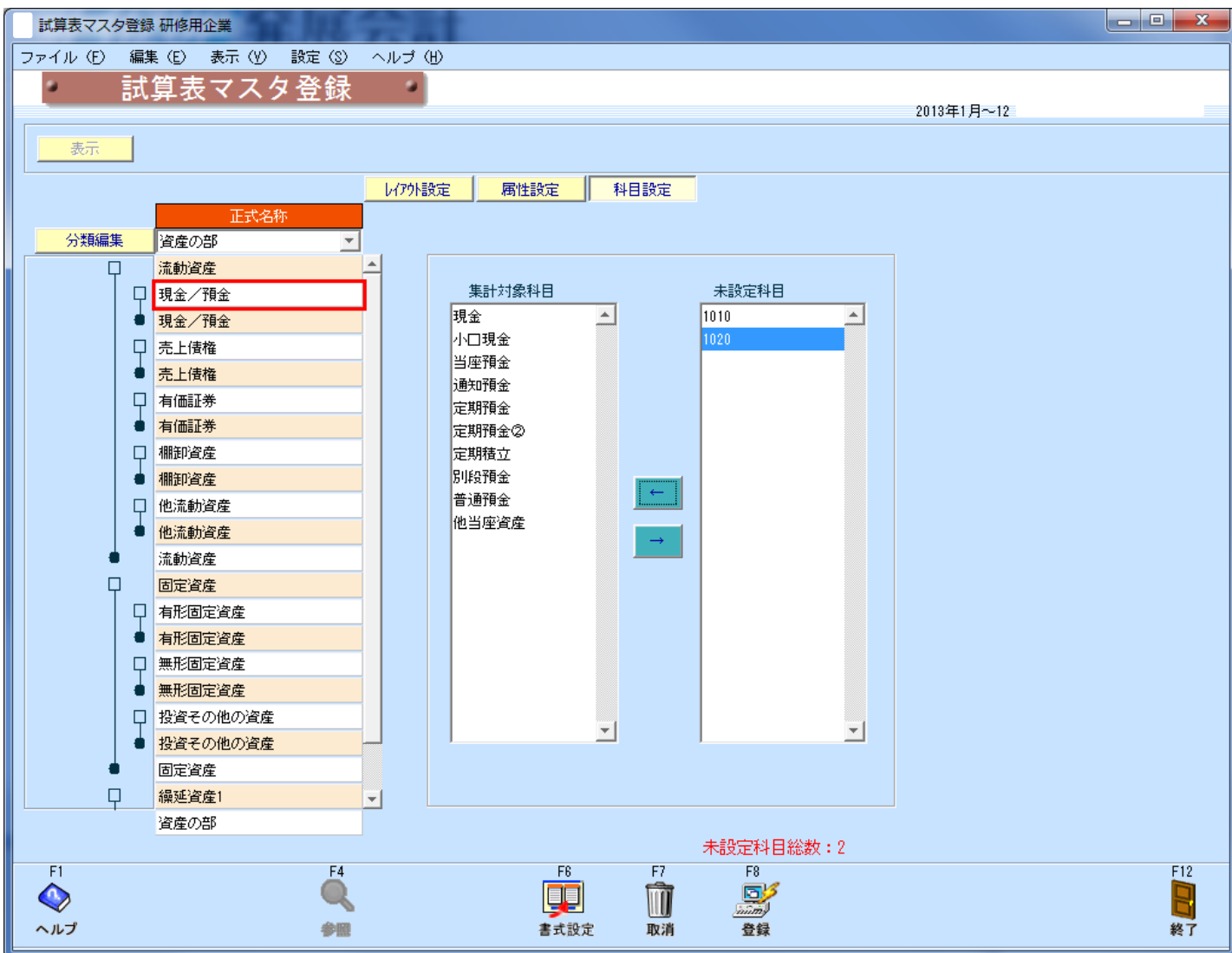
新規作成される科目は上図のように作成されます。この時、「現金／預金」に追加されます。科目の分類変更方法に関しては、次のページを確認してください。

正式名称・略称・カナ検索の3項目を入力し登録してください。
詳しい登録方法は、科目マスタ登録のヘルプを参照してください。

科目マスタの調整

メニュー位置：F7 初期導入 期首残高

初期設定マスタ



科目の分類変更方法について

「試算表マスタ登録」の「科目設定」で設定を行います。
詳しい操作方法は、試算表マスタ登録のヘルプ上の「総勘定元帳や仕訳入力の際のポップアップの科目ツリー体系を変更する」を参照してください。

先にマスタ設定を行い、その後仕訳データを取り込む

先にマスタ設定を行い、その後仕訳データを取込む場合、以下の手順で作業を行います。

- 1 年度別会計マスタ登録の設定 17P**
部門管理の有無、消費税の端数処理などの設定を行います。
- 2 科目マスタ登録 18P**
既存の会計ソフトで使用している科目コードと本システムで利用する科目コードが一致するように調整します。例えば、既存の会計ソフトで「現金」の科目コードが100であった場合、本システムの「現金」の科目コードも100と設定します。また、本システムに登録されていない科目等の登録を行います。
- 3 部門の登録 ※部門管理をしている場合のみ 19P**
本システムで利用する部門を登録します。
- 4 補助科目の登録 ※補助科目管理をしている場合のみ 20P**
補助科目を登録します。
- 5 取引先の登録 ※取引先管理をしている場合のみ 21P**
取引先を登録します。
- 6 仕訳データ取込み 22P**
準備した取込みデータを仕訳データ取込で本システムに取込みます。

年度別会計マスタの設定

メニュー位置：F7 初期導入 期首残高 初期設定マスタ

年度別会計マスタ登録 サンプル

ファイル (E) 編集 (E) 移動 (I) ヘルプ (H)

年度別会計マスタ登録 2011年1月～12月

会計年度 2012年1月～12月 表示

会計期間 2012/01/01 ~ 2012/12/31

設立日

年度名称 2012年1月～12月

年度名

月度名 開始日の月名 終了日の月名

伝票番号形式 年度単位 月単位

平均従業員数 10.00 人

平均売場面積 100.00 m²

消費税経理処理方式 税込 税抜

決算書形式 2006年度形式

法人税電子申告 使用しない

消費税課税区分 免税 簡易課税 本則課税 個別 本則課税 比例

課税売上割合 事前に申請 _____ %

消費税計算の丸め 切り上げ 切り捨て 四捨五入

1 部門管理有り 製造原価管理する

F1 ヘルプ F5 見出しへ F7 取消 F8 登録 F12 終了

No.	項目	説明
①	部門管理 製造原価管理	部門管理や製造原価管理の場合はチェックを入れてください。
②	消費税経理処理方式	税込か税抜のどちらかを選択してください。
③	消費税課税区分	対象の会計年度の課税区分を選択してください。
④	消費税計算の丸め	対象の消費税端数の処理方法を選択してください。

それぞれの設定が終わったら、**最後にF8登録を行ってください。**

科目マスタの設定

メニュー位置：F7 初期導入 期首残高 マスタ

科目マスター登録 テスト企業

ファイル (F) 編集 (E) ヘルプ (H)

科目マスター登録 2013年1月~12月

表示 集計項目

略称	正式名称			キャッシュ-借方	キャッシュ-貸方	消費税			使用期間
	検索コード	加検索	ローマ字	損益属性	資金繰り属性	補	部	取	入力帳簿
現金	現金		GENKIN	IV現金および現金	IV現金および現金				現金出納帳入力
	1001	現金			現預金	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
当座預金	当座預金		TOUZAYO	IV現金および現金	IV現金および現金				預金出納帳入力
	1003	トウザヨ			現預金	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
普通預金	普通預金		FUTUUYO	IV現金および現金	IV現金および現金				預金出納帳入力
	1004	フツヨク			現預金	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
通知預金	通知預金		TUUTIYO	IV現金および現金	IV現金および現金				預金出納帳入力
	1005	ツツヨク			定期預金	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
定期預金	定期預金		TEIKIYO	IV現金および現金	IV現金および現金				預金出納帳入力
	1006	テイキヨク			定期預金	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
定期積立	定期積立		TEIKITU	IV現金および現金	IV現金および現金				預金出納帳入力
	1007	テイキタテ			定期預金	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
別段預金	別段預金		BETUDAN	IV現金および現金	IV現金および現金				預金出納帳入力
	1008	ベツダン			定期預金	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
他当座資産	他当座資産		HOKATOUZ	IV現金および現金	IV現金および現金				
	1009	ホカトウザ				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

F1 ヘルプ F4 参照 F7 取消 F8 登録 F12 終了

No.	項目	説明
①	検索コード	既存の会計ソフトで使用しているコードと一致しない場合は、使用しているコードを入力してください。
②	補 部 取	補：補助科目管理 部：部門管理 取：取引先管理 それぞれ管理を行っている場合はチェックをいれてください。

それぞれの設定が終わったら、**最後にF8登録を行ってください。**

使用している科目がない場合は？

科目マスタ登録で新規に科目を追加してください。追加方法は科目マスタ登録のヘルプを参照してください。

仕訳データ取込み

メニュー位置：F7 初期導入 期首残高 データ連携

No.	項目	説明
①	データ形式	標準形式を選択してください。
②	存在しないマスタデータを新規で取込む	必ずチェックを入れてください。
③	税区分が不明の場合は、金額と消費税額を加算する。	取込もうとしている仕訳明細データで税区分が判定できない場合、税区分は不明で取込みされます。その際に、仕訳明細データにある取引金額と消費税額を合算して取込みたい場合はチェックを入れてください。詳細は21Pを参照してください。
④	取込ファイル指定	取込するファイルを参照し指定してください。
⑤	取込ファイルの先頭行を無視する。	取込みするデータの先頭行に仕訳以外のデータ、例えば、各列の項目名称等が設定されている場合、チェックを入れてください。
⑥	文字コード	標準文字コード (MS9 2 3) を選択してください。

税区分が不明の場合は金額と消費税を加算するとは？

取込時の税区分の判定で、税区分が不明と判定されたとき、取込元データにある金額と消費税を合算し、金額として取込みます。

例

取込元の仕訳

売掛金 110円 売上 100円 外税 10円



取込時に税区分が不明と判定

売掛金 110円 売上 110円 税区分：不明

税区分が不明の場合は金額と消費税を加算するにチェックをいれなければ、上記例は取込時点で貸借不一致でエラーとなります。